

令和7年度(2025年度)熊本県学力・学習状況調査 結果概要

1 調査の概要

(1)趣旨	本県児童生徒の学力や学習状況及び教師の学力向上への取組状況等について調査・分析することにより、県教育委員会における教育施策の成果と課題を検証し、新たな取組の方向性を明らかにするとともに、各市町村教育委員会における学力向上に向けた施策の改善に資する。 併せて、各市町村教育委員会と連携を図りながら今後の各学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
(2)実施日	令和7年12月1日(月)～9日(火)
(3)対象	・市町村立小学校第3～6学年 ・市町村立中学校第1～2学年 ※義務教育学校第3～8学年含む。熊本市を除く。
(4)内容	①児童:教科調査(国語、算数)/質問紙調査 ②生徒:教科調査(国語、数学、英語)/質問調査(オンライン実施) ③学校:質問調査(オンライン実施) ※中学校はCBT(Computer Based Testing)にて実施
(5)調査対象	・小学校 232校(約35,000人) ・中学校 116校(約18,000人)

2 調査結果の概要

(1)教科調査の結果 ※ 数値は県の平均正答率

学年	小学3年		小学4年		小学5年		小学6年		中学1年			中学2年		
教科区分	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
R7	75.4	74.9	72.2	72.4	73.5	68.0	72.3	77.1	58.2	54.7	53.4	53.9	49.2	47.9

調査結果より(成果と課題) (○成果 ●課題)

- 【国語】 ○小学校で主語と述語の関係や修飾語について理解できていた。
●小学校中学校ともに原因と結果など文と文の関係や段落と段落の関係、文章の構成を読み取ることに課題がある。
- 【算数・数学】 ○小学校の変化と関係領域については特に理解できていた。
●小学校中学校ともに文章と図や式を結び付けて記述する問題で課題が見られる。
- 【英語】 ○基本語彙を用いて日常的な話題の概要を聞き取ることはできていた。
●文法の意味や用法を理解する内容には課題がある。

すべての教科等での授業改善に向けて(県の重点取組より)

- 【教科書を使いこなす】
○児童生徒が教科書を使って自分で学べるよう、教科書の構成と使い方を理解させる。
○教科書等の本文、グラフや図など、各教科における読み方を身に付ける。
- 【学習用語を理解する】
○学習用語は、個人思考、対話、発表、まとめ、振り返り等で、繰り返し使わせる。
- 【読み取る力を高める】
○学力調査などの結果や授業の見取りから、児童生徒の読み取る力の実態を把握する。
○読み取ったことを、教科書に線を引いたり、それを使ってノートに書いたり伝えたりする場面を設定する。

(2) 児童生徒質問（紙）調査の主な結果概要 ※数値は「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合

		本県小学校		本県中学校	
		R7	R6	R7	R6
自己有用感等	〔小3・4〕先生はクラスのみんなのことを、ほめてくれますか	94.3% (-0.1)	94.4%	93.1% (+0.3)	92.8%
	〔小5～中2〕先生はクラスのみんなのことを、ほめたりはげましたりしてくれていますか				
主体的・対話的で深い学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか	75.1% (+0.5)	74.6%	74.4% (+4.3)	70.1%
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると思いますか	67.2% (+0.5)	66.7%	62.4% (+2.3)	60.1%
授業の理解度	国語の授業の内容はよく分かりますか	85.0% (-1.0)	86.0%	81.6% (+2.1)	79.5%
	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	80.6% (-0.4)	81.0%	65.7% (+0.1)	65.6%
	外国語(英語)の授業の内容はよく分かりますか	80.0% (+3.0)	77.0%	64.5% (+3.7)	60.8%
本県重点取組	〔小3・4〕国語のじゅぎょうで、目てきをもってせつめい文を読み、大事な言葉や文を見つけていますか	75.5%	—	74.3%	—
	〔小5～中2〕国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか				
	〔小3・4〕算数のじゅぎょうで、式や表、グラフに表されていることの意味が分かりますか	83.7%	—	64.5%	—
	〔小5・6〕算数の授業で、式の意味を理解したり、表やグラフから分かることを理解したりすることができていますか				
	〔中1・2〕文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができていますか				

調査結果より

- 自己有用感等に関する項目は、昨年度同様に高く、小学校中学校ともに90%を超えている。
- 「主体的・対話的で深い学び」に関する項目は、昨年度から向上している。
- 授業の理解度に関する項目は、外国語・英語において、小学校中学校ともに3ポイント以上の伸びが見られた。
- 重点取組に関する項目では、国語においては「文章を読み、大事な言葉や文、必要な情報を見付けることができる」と回答した児童生徒の割合は小学校中学校ともに75%程度であった。また、算数・数学においては、小学校で「式や表、グラフに表されていることの意味が分かる」と回答した児童の割合が約84%、中学校で「文字式を用いた説明や図形の証明が分かる」と回答した生徒の割合が約65%であった。

3 今後の取組

- 県下の学校へ、引き続き3つの重点取組を発信し、取組の充実を図ります。
- 県や市町村教育委員会、小中学校の代表者からなる「学力向上推進本部」を令和8年2月6日(金)に開催し、課題の改善に向けて今後の方向性を協議し、資料等を学校へ提供します。
- 「熊本の学び」プロジェクト校の取組等を学ぶ「熊本の学び」推進オンデマンド研修会を令和8年2月20日(金)よりオンラインにて開催します。
- 授業力の向上や校種間の円滑な接続等を目的に、「熊本の学び」わくわくサークルを令和8年2月24日(火)、26日(木)、27日(金)にオンラインにて開催します。
- 令和8年度より、一人一人の読みのつまずきに着目した授業改善に取り組むモデル校事業や研修を実施することを検討しています。